

5. 事業が長期間要している理由は？

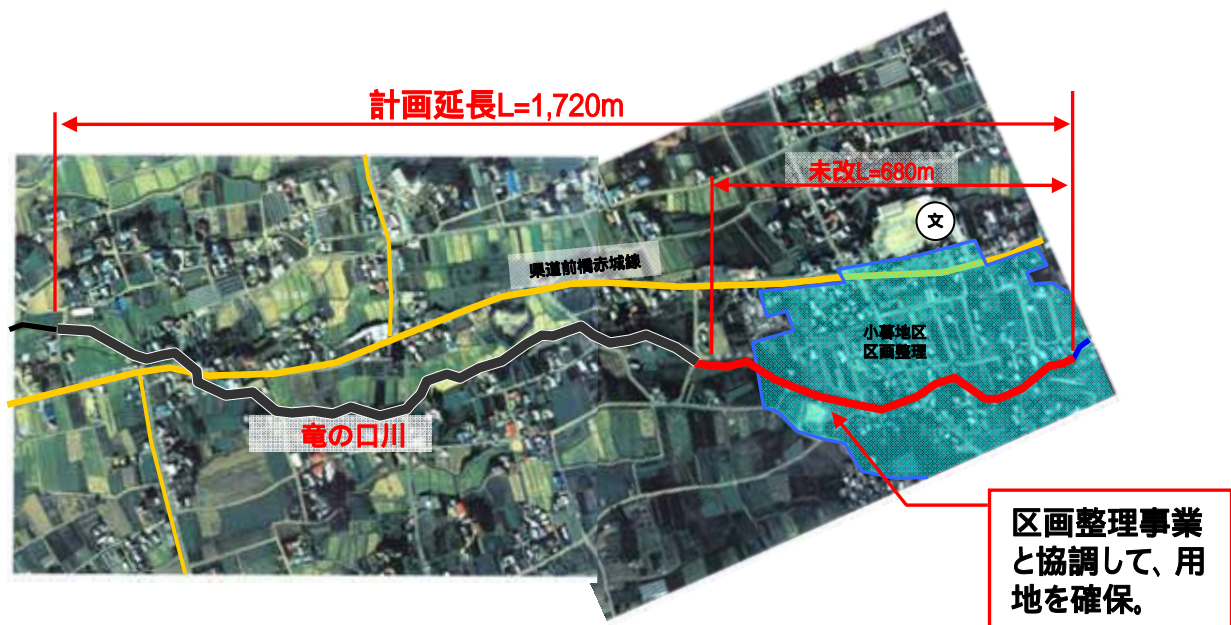
【元々が長期計画】

不測の事態により長期化】

〔元々が長期計画〕

河川改修は下流から順次整備を進めていく必要があり(上流の断面を先に広げると、下流に現状流下能力以上の水が流れてしまうため)、また出水期には河川工事が行えないため、延長1,720mの改修を行うには計画当初から長期計画となっている。

また、当事業は前橋市都市計画事業である小暮地区区画整理事業と協調し実施しており、事業間の調整により更に長期計画となっている。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

・本事業は河川改修を行うことにより、竜の口川沿川の浸水被害を軽減するための事業である。現在事業は計画通り進捗しており、また懸案事項もないため、計画およびスケジュールの変更をせずに、現計画のまま今後も実施したい。

・現在延長ベースで約60%まで進捗している。

・沿川では区画整理事業などにより市街化が進んでいるため、当初以上に事業の必要性が増加している。

・これまで事業は順調に進捗しており、残区間は、ほぼ区画整理事業地内であるため、区画整理事業と協調して、用地取得を円滑に行い、事業の早期完了を図りたい。